

# バージョンアップガイド (2016 R 1→Ver.7)

BLUETREND XA 2016R1 から Ver.7 への  
バージョンアップ内容をご紹介します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である  
場合があります。ご了承ください。



# 目次

# バージョンアップガイド BLUETREND XA (2016R1→Ver.7)

## 1 メイン・共通 P.2

1- 1 印刷コマンドの統合	2
----------------	---

## 2 CAD P.3

2- 1 [線]ー[入力]コマンドに[単線]モードを追加	3
2- 2 [線]ー[ヒゲ線]コマンドの追加	4
2- 3 [円]ー[中心半径]コマンドで スタンプ形式の入力が可能	4
2- 4 トラッカ機能の拡張	5
2- 5 SXFのP2Z・SFZ形式の入出力に対応	6
2- 6 CAD製図基準改定に対応(発注者レイヤ)	7
2- 7 CAD製図基準改定に対応(文字サイズ)	7
2- 8 平成27年度作業規定の準則改正に対応 (DM・地図記号関連)	8
2- 9 平成27年度作業規定の準則改正に対応 (基準点計画チェック)	9

## 3 基準点測量 P.10

3- 1 平成27年度作業規定の準則改正に対応	10
-------------------------	----

## 4 REGIC 連携 P.11

4- 1 REGIC連携を強化 (REGIC連携モード)	11
4- 2 REGIC連携を強化	11

# 2016R1→Ver.7



BLUETREND XA 2016R1から  
Ver.7へのバージョンアップ内容  
をご紹介します。

**1** メイン・共通

---

**2** CAD

---

**3** 基準点測量

---

**4** REGIC連携

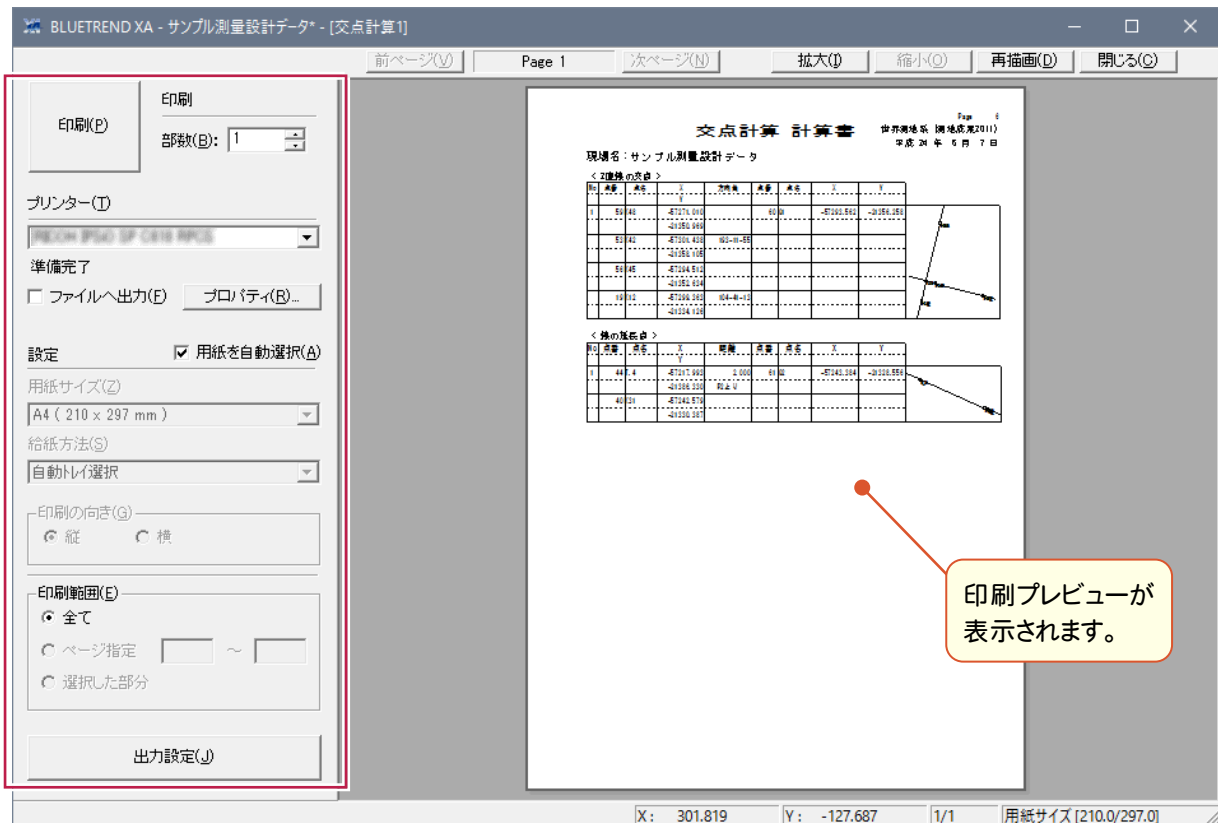
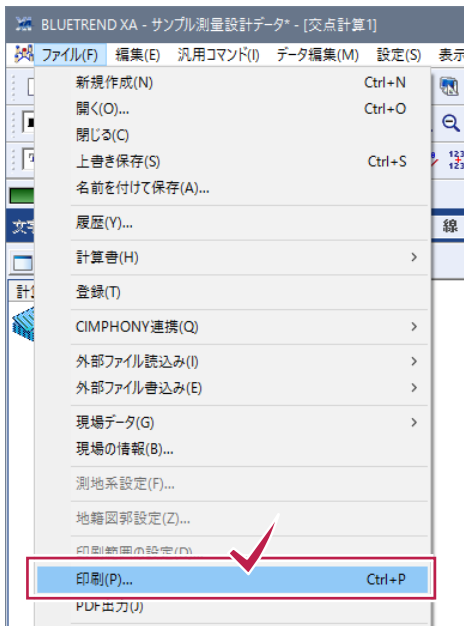
---

# 1 メイン・共通

メイン・共通の新機能をご紹介します。

## 1-1 印刷コマンドの統合

印刷プレビュー、印刷、プリンターの設定コマンドを印刷コマンドに一元化しました。  
用紙の設定やプリンターの設定等、コマンドを切り替えずに変更・確認が可能になります。



# 2 CAD

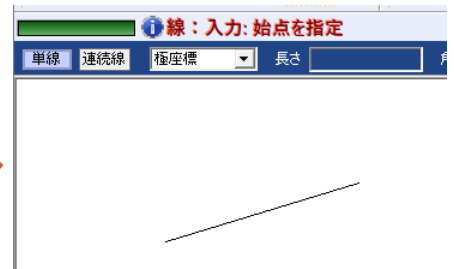
CADの新機能をご紹介します。

## 2-1 [線]—[入力]コマンドに[単線]モードを追加

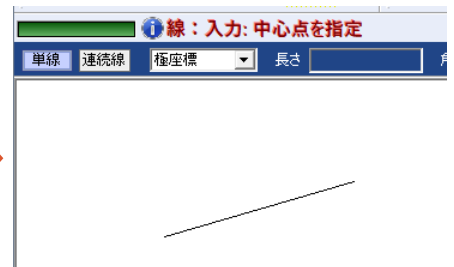
[汎用]—[線]—[入力]時、インプットバーで[単線]モードを指定することにより、2点指定で線が確定します。線の両端2点、線の中から端点を指定する2つのパターンで入力できます。



### ■ 始点・終点指定の場合

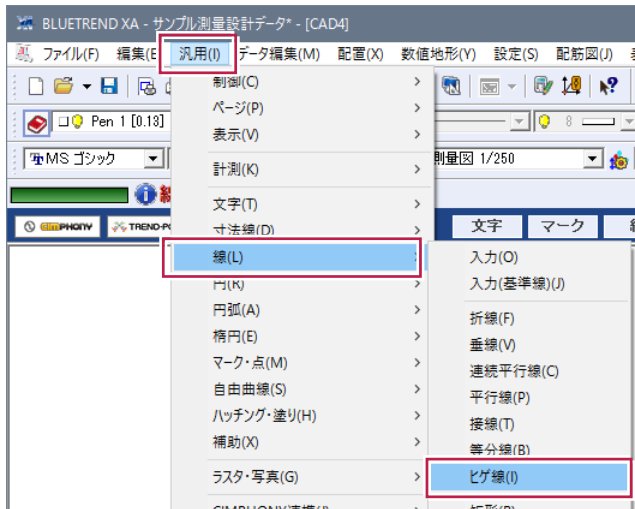


### ■ 中心と1点指定の場合



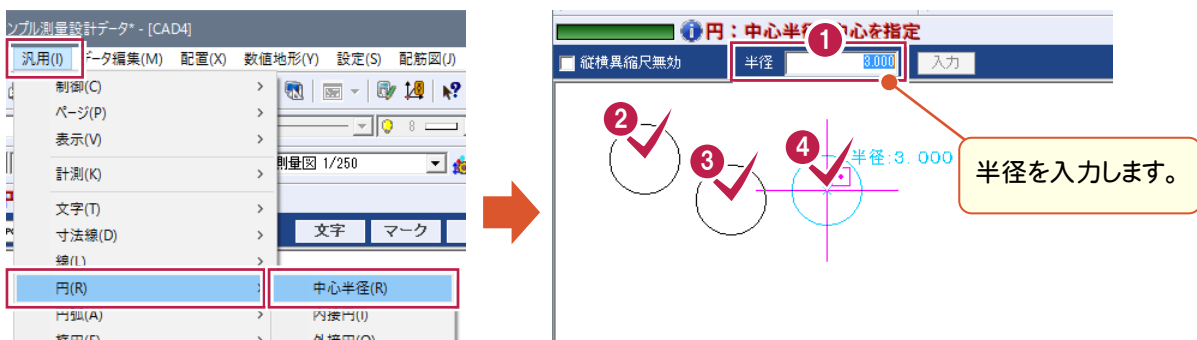
## 2-2 [線]—[ヒゲ線]コマンドの追加

基準線を選択し、ヒゲ線終点位置を指定することで入力できます。長さや角度を保持した連続入力も行えます。



## 2-3 [円]—[中心半径]コマンドでスタンプ形式の入力が可能

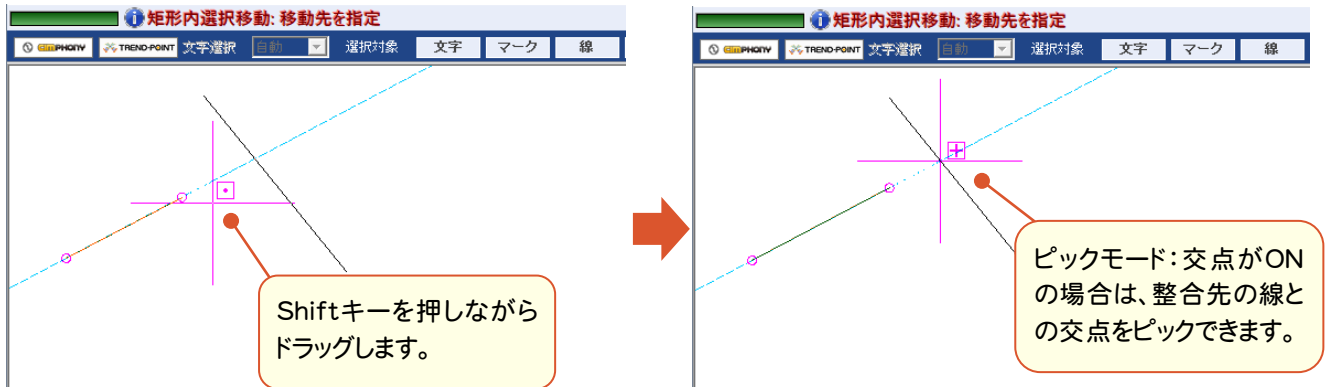
入力する円の半径をエディットに入力した後に、円の中心をマウスで指定する事でスタンプ形式での円の連続入力が行えます。



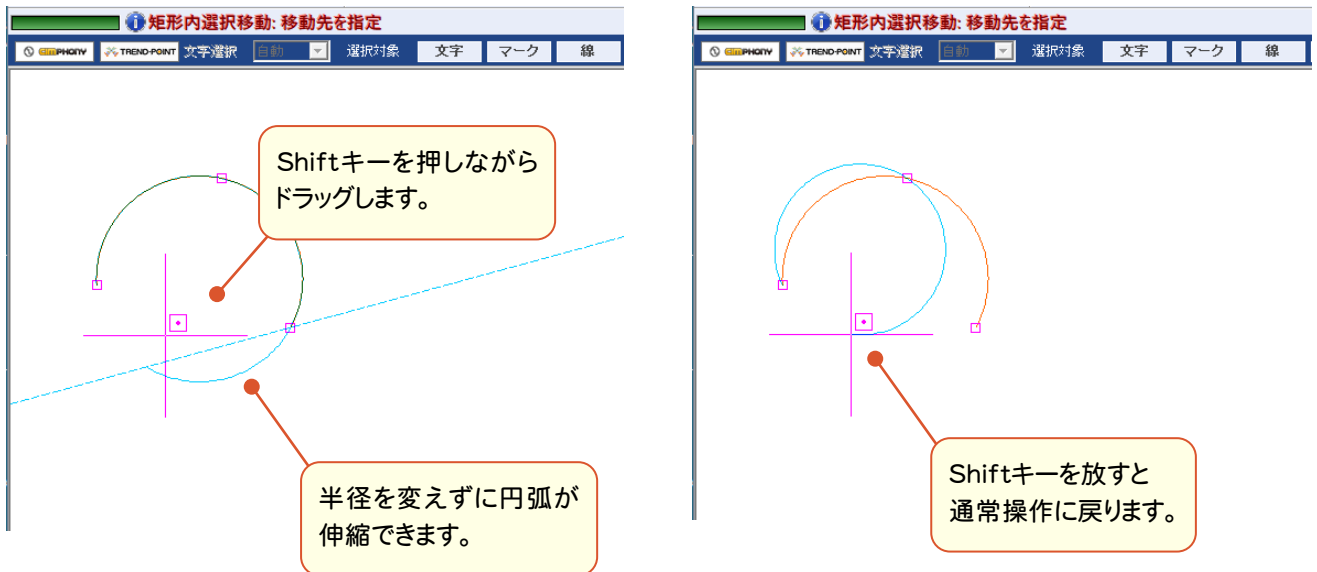
## 2-4 トラッカ機能の拡張

線の端点の線上への整合は、Shiftキー併用のマウス操作(ピックモード交点)で行えます。  
また、円弧の伸縮はShiftキー併用のマウス操作で行えます。

### ■線の整合

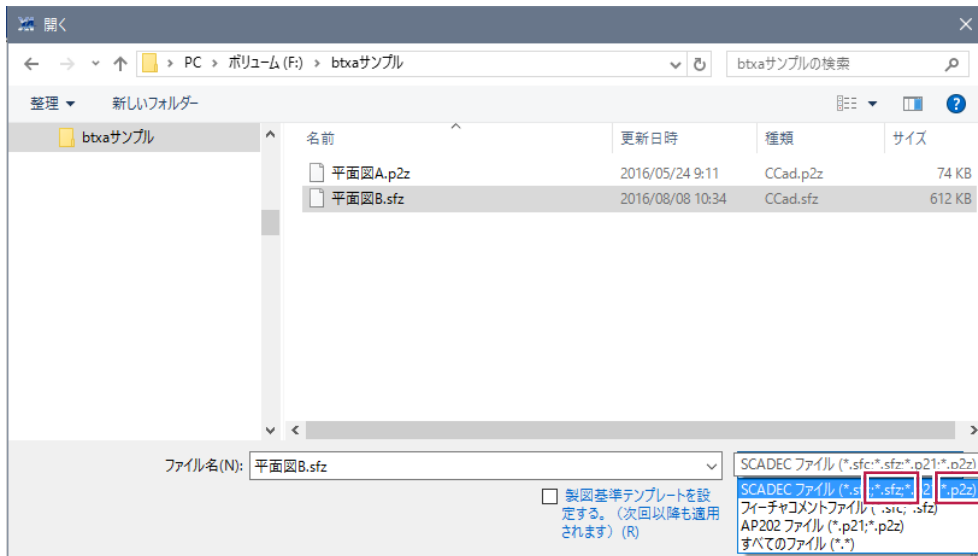
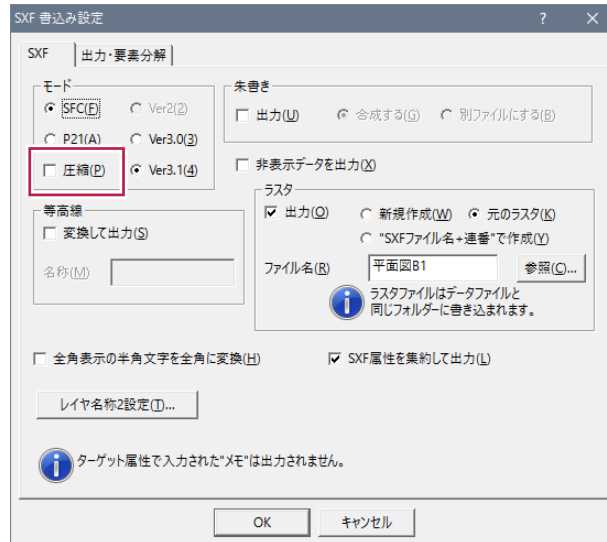


### ■円弧の伸縮



## 2-5 SXF の P2Z・SFZ 形式の入出力に対応

CAD製図基準(平成28年3月改定)に対応して、書き込み時の設定に「圧縮」を追加しました。SXF形式の図面ファイル(SAF ファイルやラスタファイルが添付される場合はそれらを含む)をZIP方式により圧縮します。また、圧縮ファイルを読み込めるようにしました。圧縮したファイルの拡張子は、「SFZ」、「P2Z」となります。





## 2-6 CAD 製図基準改定に対応(発注者レイヤ)

平成28年3月以降に作成された国土交通省(一般土木、電気、機械)テンプレートを用いてCAD製図基準チェックを行った場合、発注用レイヤ(ORD)に対する以下のチェックを追加しました。(下記の場合はエラーとなります)

- ・責任主体に半角英大文字「C」以外が使われている
- ・図面オブジェクトに半角英大文字「ORD」以外が使われている
- ・作図要素が指定されている
- ・ユーザー定義領域が半角250文字以上になっている
- ・ユーザー定義領域以降に-を使っている

(平成28年3月より前に作成されたテンプレートの場合は発注用レイヤの条件を満たしてもエラーとなります)

発注レイヤの命名規則を満たすものは「協議」とし、内容表示の結果セル、要素表示の文-高セル に「×」ではなく、「協」を表示します。

また、説明部の文言も、「【協議】『レイヤ名』は発注図専用の発注用レイヤです。完成図面の場合、発注用レイヤは残さないでください。」と表記します。

## 2-7 CAD 製図基準改定に対応(文字サイズ)

平成28年3月以降に作成された国土交通省(一般土木、電気、機械)テンプレートを用いてCAD製図基準チェックを行った場合、文字のサイズをエラーとせずに協議とするようにしました。

内容表示の結果セル、要素表示の文-高セル に「×」ではなく、「協」を表示します。

また、セル下に表示される詳細情報の文言に【協議】を追加しました。

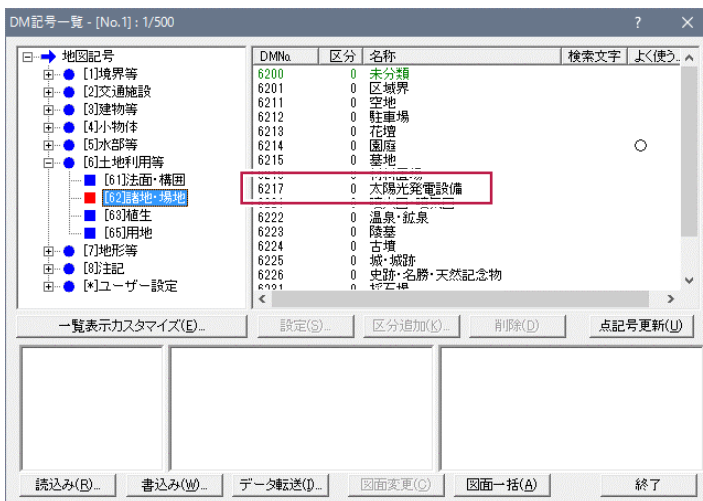
## 2-8 平成27年度作業規定の準則改正に対応(DM・地図記号関連)

DMLayer、DM点記号に、「太陽光発電設備」を追加しました。  
「多言語表記の地図記号」をシンボルに追加しました。

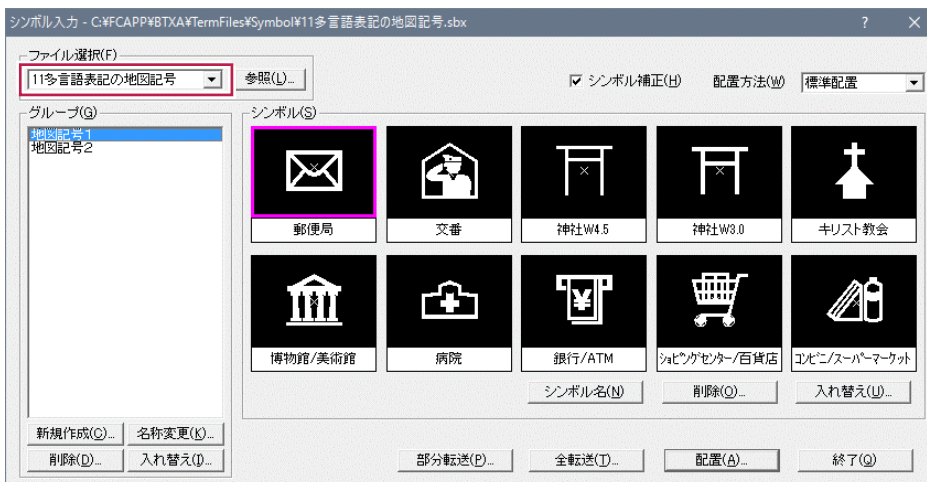
### ■DMLayer



### ■DM記号

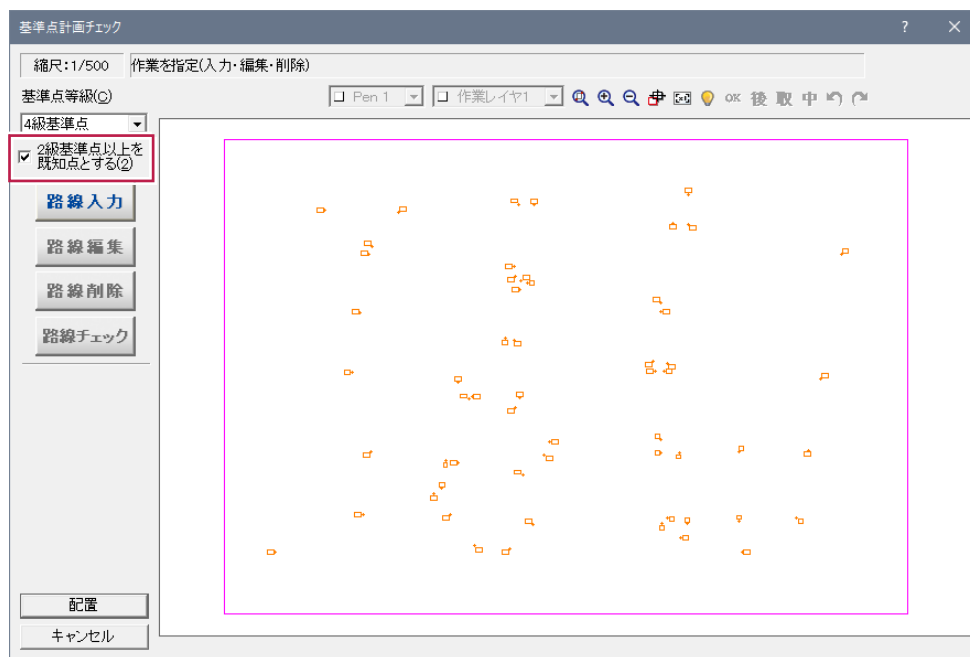


### ■シンボル



## 2-9 平成27年度作業規定の準則改正に対応(基準点計画チェック)

4級基準点が選択されている場合、「2級基準点以上を既知点とする」チェックをONにすることで、路線数、路線長が新基準でチェックされます。



# 3 基準点測量

基準点測量の新機能をご紹介します。

## 3-1 平成27年度 作業規定の準則改正に対応

平成27年度作業規程の準則改正に対応しました。(付録4 標準様式 様式第3-7)  
下記の出力においてジオイド高の出力を行わないようにします。

- 厳密網測点-成果数値データ出力(作業規程)
- 任意水平-成果数値データ出力(作業規程)
- 単路水平-成果数値データ出力(作業規程)

# 4 REGIC 連携

REGIC連携の新機能をご紹介します。

## 4-1 REGIC 連携を強化 (REGIC 連携モード)

REGICの新不動産調査報告書-「07現地の状況」-「境界標」に座標情報(点名、杭種、リンク)を受け渡せるようにしました。

申請地番の地番構成点の点名、杭種、リンクファイルが、REGICの新不動産調査報告書-「07現地の状況」の「点名」、「境界標」および「写真」に連携します。

## 4-2 REGIC 連携を強化

REGICの新不動産調査報告書-「09境界位置の計測」に座標情報(点名、杭種、点種)を受け渡せるようにしました。

「基本三角点等」、「補助基準点」、「恒久的地物」に該当する座標を座標管理から選択します。ファイル出力後、REGICの新不動産調査報告書-「09境界位置の計測」でそのファイルを取り込むことで、「使用した基本三角点等」(点名、等級・種別、標識)、「補助基準点」(点名、名称・種別、標識)、「恒久的地物」(点名、名称・種別、地物名)が取り込まれます。今まで通り、旧形式での受け渡しも可能です。

No.	点番	点名	等級・種別	標識
1	8	K1	一等三角点	コンクリート杭
2	9	K2	二等三角点	金属杭
3				
4				
5				
6				
7				
8				

No.	点番	点名	名称・種別	標識
1	10	K3	センター点	プラスチック杭
2	11	K4	IP点	
3				
4				
5				
6				
7				
8				

No.	点番	点名	名称・種別	地物名
1	12	K5	金属杭	河川キロポスト
2	13	K6	木杭	
3				
4				
5				
6				
7				
8				

出力フォルダー(E): C:\FCAPP\BTA\OtherData\Txt 参照(B)

出力ファイル名(N):

旧形式 (平成19年) で出力(Q) OK キャンセル

[旧形式 (平成19年) で出力]をONにすると旧形式で出力できます。

# BLUETREND XA Ver.7

## BLUETREND XA Ver.7 計算書フォーマット変更一覧

BLUETREND XA 計算書 新規追加フォーマット						
No	アプリケーション	計算書グループ	計算書タイプ	フリーフォーマットの追加	備考1	備考2
1	基準点測量	厳密網成果	成果表 その3 (H28年度作業規程)	対象	平成28年3月31日改正「作業規程の準則」の標準様式	フリーフォーマットの追加欄が「対象」になっているフォーマットは、下記の方法でセットアップされた場合に、[プログラム]-[FukuiComputerApplication]-[BLUETREND XA Ver.7 ツール]-[フリーフォーマットの追加]で取込むことができます。 ・ BLUETREND XA 旧バージョンからのバージョンアップインストールを行った場合 ・ 新規インストール後にBLUETREND XA 現場管理でBLUETREND Vの設定ファイルをリストアした場合
2	基準点測量	厳密網成果	成果表(簡易 H28年度作業規程)	対象		
3	基準点測量	厳密網成果	成果表(路線 H28年度作業規程)	対象		
4	基準点測量	任意網成果	タイプ 2 H28年度作業規程	対象		

BLUETREND XA 計算書 一部変更フォーマット						
No	アプリケーション	計算書グループ	計算書タイプ	フリーフォーマットの追加	変更内容	備考
1	基準点測量	精度管理表	その1(新作業規程)	対象	項目タイトル「作業班長」「埋設様式」を「点検者」「埋設形式」に変更 (平成28年3月31日改正「作業規程の準則」の標準様式に準拠)	フリーフォーマットの追加欄が「対象」になっているフォーマットは、下記の方法でセットアップされた場合に、[プログラム]-[FukuiComputerApplication]-[BLUETREND XA Ver.7 ツール]-[フリーフォーマットの追加]で取込むことができます。 ・ BLUETREND XA 旧バージョンからのバージョンアップインストールを行った場合 ・ 新規インストール後にBLUETREND XA 現場管理でBLUETREND Vの設定ファイルをリストアした場合
2	基準点測量	精度管理表	その1-2(厳密網 新作業規程)	対象		
3	基準点測量	精度管理表	その1-3(簡易網 新作業規程)	対象	項目タイトル「作業班長」を「点検者」に変更 (平成28年3月31日改正「作業規程の準則」の標準様式に準拠)	
4	水準測量	精度管理表	タイプ 1 (点検付)	対象	項目タイトル「設置区分」を「埋標形式」に変更 (平成28年3月31日改正「作業規程の準則」の標準様式に準拠)	
5	水準測量	精度管理表	タイプ 1 観測者ごと (点検付)	対象		
6	点の記	基準点・水準点 (詳細)	公共測量作業規程点の記その3	対象	項目タイトル「設置区分」を「埋標形式」に変更 (平成28年3月31日改正「作業規程の準則」の標準様式に準拠)	
7	点の記	基準点・水準点 (詳細)	公共測量作業規程点の記その4	対象		
8	点の記	基準点・水準点 (詳細)	水準点の記作業規程	対象	標識番号表示欄から「第」「号」を削除 (平成28年3月31日改正「作業規程の準則」の標準様式に準拠)	
9	点の記	基準点・水準点 (詳細)	水準点の記作業規程(点コードあり)	対象		